

特殊詐欺等事件発生通報

令和8年 第1号

「ニセ警察詐欺」の高額被害が2件発生！

【事例1】

1月3日、天童市居住の男性(40歳代)方のスマートフォンに「+1」から始まる国際電話番号で「NTTドコモ」を名乗る男から電話があり、『**あなた名義で携帯電話の不正契約があった。**』などと言われ、「渋谷警察署の松岡」を名乗る男と電話をかわりました。

その後、LINEに誘導され、ビデオ通話で『**不正契約事件の犯人があなた名義の口座を開設した。事件と無関係であることを証明するためには、持っている口座全ての紙幣調査をする必要がある。お金は調査後に返金する。**』などと言われ、無実を証明するため、合計9回、現金合計1,390万円を振り込んで被害にあいました。

【事例2】

1月5日、山形市居住の男性(50歳代)のスマートフォンに、「+1」から始まる国際電話番号で「JCBカード」の職員を名乗る男から『**あなたのカードが犯罪に使われている。**』などと言われ、「八王子警察署のハラ」を名乗る男に電話が転送されました。

男性は、ハラから電話や通信アプリ「シグナル」のビデオ通話で『**マネーロンダリング事件で、あなた名義の口座に680万円が送金されている。識別調査をしなければならない。**』などと言われ、無実を証明するため、合計6回、現金合計1,125万円を振り込んで被害にあいました。

手口の特徴を知り、だまされないようにしましょう！



- ☆警察官は、SNSに誘導したり、ビデオ通話やSNSで制服姿や警察手帳を見せることは**絶対にありません！**
- ☆警察官が「身の潔白を証明するため」「無実を証明するため」などと現金を要求、調査することは**絶対にありません！**
- ☆電話の途中で転送されて警察官に代わる電話は、ニセ警察詐欺によくある手口です。このようなことは**絶対にありません！**